

経営継承の必要性の確認

設問

3

私には後継者がおらず、【 第三者に譲渡 ・ 廃業 】 したい。

譲渡 ・ 廃業する時期は _____ 年 _____ 月頃と考えている。

Q1	今後、事業や資産を第三者に引き継ぐ場合の 相手候補先はありますか	☐ はい ☐ いいえ
Q2	事業や資産を引き継ぐ進め方についてご存じですか	☐ はい ☐ いいえ

「いいえ」という回答があった方

今後どのようにしていくのか、最寄りの都道府県の就農サポート・経営サポート相談窓口の無料相談などを開始してみてください。

結果はいかがでしたか？

経営継承は、あなたの引退時期を決めることでもあるため、

- ・農業には定年がないので自分で決められない
- ・家族や役員から話題とすることが難しいかもしれません。

まずは、客観的に経営継承の準備状況を診断してもらうため、都道府県の就農サポート・経営サポート相談窓口などの支援機関や中小企業診断士などの専門家に相談してみましょう。



経営状況・資産の把握

次はあなたの経営状況や資産などを“見える化”して把握します。
“見える化”するものは、あなたが作り上げてきた経営そのものです。

具体的には、会社概要・決算資料（7ページ参照）などを見ながら、
①から⑥までの各項目を書いてみてください。

書けないところは、支援機関などを活用して整理してもらおうとよいでしょう。

…… 支援機関（都道府県の就農サポート・経営サポート相談窓口）のご紹介 ……

経営継承を含む農業経営の課題解決に関する
無料の相談窓口が各都道府県に設けられています。
詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください。



1

経営者として大切にしているもの

ビジョンや 農業に対する 思い	
農業経営の 強みと こだわり	
取引先や 重要な人	